

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「選ばれ続ける霧ヶ峰高原活性化事業」
事業主体 (連絡先)	霧ヶ峰強清水自治会 副会長 朝倉 英仁
事業区分	地域の元気を生み出す地域づくり・地域協働の推進
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,388,000 円 (うち支援金: 2,541,000 円)

事業内容

「選ばれ続ける霧ヶ峰高原」を目標に地域自治会員、男女共同の参加のもと、訪れた旅人や地元民が気兼ねなくお弁当を広げたり、お子様と遊んだり、時にはイベントに参加出来る高原らしい草地広場作りを目指したい。そして、今後の霧ヶ峰高原への誘客に向けて自治会が自立して、何時でも開催できる独創的なイベントを企画していく必要を大いに感じています。そうした今後を見据えると効率的な「場」の整備は欠かせません。広大な草原整備を効率よく進める手立てとして草刈り機の導入が叶った本年、今後更なる地域づくりを進めて行きたい。



【

【目標・ねらい】

- ① 事業開催の「場」の確保
- ② 各種団体との事業の連携
- ③ 誘客の促進
- ④ 霧ヶ峰地域づくりの発信

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

新緑の季節から降雪の兆しを感じるまでの間は、これらの事業開催の「場」の確保の為に草刈り作業を何度も行う必要があり、これに多くの労力を費やし、本来のイベント等の内容の充実に注力できない状況にありました。本事業決定を期に、本来充実したいイベント等に一層のウエイトを置くことが出来る事でしょう。そして今後の事業策定・取組に期待が持てます。

ゲレンデ前イベント広場草刈り 3600㎡ 1回、(21.日本訓練チャンピオン決定競技会)出場警察犬 624頭、10/16～10/18の期間で訓練士・観客含め、1日平均 600名を越えて盛況でした。

滑空場草刈り 40000㎡、1日協力

※自己評価 【 A 】

【理由】

自治会会員の一致団結と今後の事業展望に明るい希望が訪れた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後の取組について、事業内容・事業効果の項目にて記述して参りましたが、今回の「地域発 元気づくり支援金」への応募、私ども自治会の近年にない一致団結と、皆の知恵を集中した応募事業でした。輝く将来展望を皆が持ち続ける事が難しい今日この頃ですが、「元気づくり支援金」決定通知、事業の開始等で自治会会員一人ひとりに明るい希望の光が照らされたように実感しました。私どもは地域の力を結集して「選ばれ続ける霧ヶ峰高原活性化事業」を進めて参ります。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある